

原子力 ワンポイント



広く利用されている放射線 30

低く出やすい個人線量計」って本当ですか。

タクさん 毎日新聞 (二〇一三年九月五日)

原子力規制委員会は、「帰還後の住民の被ばく線量の評価は、胸につけた個人線量計で測定された被ばく線量(個人線量と定義する)を用いるべし」と述べていますが、「個人線量計は低い数値が出やすい」と反対する人がいます。

ゆりちゃん 「数値が

ていました。でもこれは

や家屋の遮蔽率を一律

サーベイによる実測値

「空間線量率」を測定す

(原産協会・人材育成部)

と仮定して、先ず①航空機サーベイによる空間線量率の実測値(X)から一時間当たりの自然寄与分(〇・〇四マイクログシーベルト)を差し引いて事故による上昇している実効線量により②屋内外の滞在時間(屋

家屋や滞在時間など 反映した「場の線量」

ゆりちゃん 「場の線量の求め方をもう少し詳しく教えて下さい。」

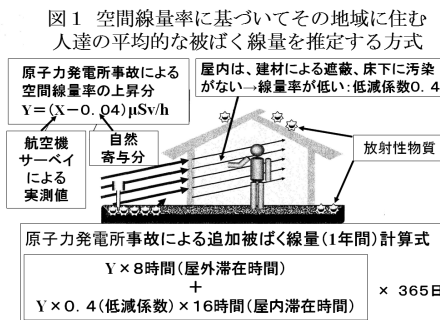
タクさん 図1を見てください。内閣府原子力被災者生活支援チーム

は、住民の生活パターン

の被ばく線量を計算。最

後に③三百六十五日を

「放射線防護に用いられる線量概念」参照。



掛けて一年間累積の「場の線量」を推定・評価しています。

ゆりちゃん 「場の線量」と「個人線量」に違いが生じる理由を教えてください。

タクさん 航空機

は、約六百m圏内の測定値を平均化したもので、個人人の被ばく線量を表すものではありません。また、滞在時間は個人によって大きく変化します。さらに、低減係数は家屋(木造、ブロック、レング造り)によって大きく変動します。これらを一律と仮定することに無理があります。もう一つ大事なことは、個人線量計は本来、航空機サーベイと同じように「空間線量率」を測定するよう